

「思春期の子供について考える」親の役割とは

◇◇◇◇◇

思春期＝反抗期と思っている方は多いのではないのでしょうか？

谷村カウンセラーは、小さい頃からのコミュニケーションが大事であるといえます。

小さい頃からのコミュニケーションがないと、親も子もお互いにならぬ接し方になり、お互いの本音が分からないままの状態になってしまうかも知れません。

小さい頃からのコミュニケーションの重要性や親として、思春期の子供との向き合い方について、谷村カウンセラーに話していただきました。

◇◇◇◇◇

「反抗期は、いつ頃のことをいうのでしょうか？」

その子供によって、親の対応によって違うと思いますが、親が本当に反抗しているなど見えるのは、思春期と言われる時、小学校高学年あたりからだと思います。

幼稚園に行くかいない頃は幼児期、小学校に入ると児童期、児童期で高学年になるに従って思春期を迎えます。

思春期では、特に女性の場合ですが、体が膨らみが出るなど、物理的な体の変化が表れてきます。でも心の成長とは当然並走できておらず、心の成長が遅れているように見えるのではないかと？

「どういったことが、親から反抗しているように見えるのですか？」

親を避ける。
例えば、旅行に一緒に行く等々、あまり嬉しい顔をしないということ

とがあると思います。

だけど、私は、実際の反抗というものはないのかと思っております。確かに親からすると、反抗期に見えるかも知れませんが、子供からすると反抗しているわけでも何でもないと思っています。

ここで、親は、反抗期と決めつけてしまうのは間違いであると思っております。子供と違う方向を向いていると、親子の心の距離は開いていってしまいます。

「親はそういうことをされた時はどうしたらいいのでしょうか？」

そういう時期というのは、心の成長が追いついていない状態なんです。子供は、少しずつ学習して成長していくものなんです。急いで事を仕損じると、お考えになっていただきたいと思います。

子供が一見反抗的な態度をとってきたからといって、頭にきて、手

をあげるようなことをしてはいけませんし、叱ることもいけないと思います。

「叱るな、褒める」という言葉を聞いたことがあると思いますが、僕は間違いとは言いませんが、「叱るな、論（さと）せ」という言葉に変えて親御さんに伝えたいです。

親は冷静に、子供に対して、「これはしてはいけないんだよ」ということを諭してあげてほしいと思います。親が子供に、倫理観（道徳）を教えるということは、とても大切なことだと思います。

こういう風にしてこの時期の子供を支えてあげることが大事だと思います。



子供と視線を合わせるといふこともよく聞くと思いますが。

物理的には親の方が身体が大きいく当然視線は違いますが、親も思春期を体験してきているわけで、親はその子供の年齢まで自分の心の視線を下げてあげることが大切だと思います。

どうも、そのことを忘れがちになっている気がします。どうしても親としての視線で話しているように思えます。親独自の経験則で子供に何かを強要するのは困りますね。可能な限り客観性を持って話してあげて欲しいです。水平視線を心掛けて下さい。

ー親は、子供に対してどのようなことを大切にしてあげたらいいでしょうか？

この時期に限らずですが、親として非常に大切なことは、自分の子供の感性を見極めてあげることです。観察していなければわかりませんが、大雑把に分けるとしたら、理工系が好きな子もいれば、文系に興味を持っている子もいます。

子供が興味を持つている方向とは逆の方向に親が線路を敷いてあげるとどうなるでしょうか？



きつと子供は大変な目に合うでしょう。今、この間違った線路に乗ってしまつたために、30歳位を過ぎてから深く悩まれる方が多いように思います。

芸術系、美術や音楽に興味を持っている子供も多いと思います。ですが、それを親に伝えると、「絵で飯が食えるか」と言われる親が多いと思います。そうして違ったルールを無理やり走らされて・・・。そして、ちょうど30歳位という節目で大きな矛盾を感じられるケースが多いように思います。

ー親は、どうして子供の感性を見極めることが難しいのでしょうか？

小さい頃から常日頃の子供との

コミュニケーションがないからであるとあります。

昨今は特に、両親ともに働いておりますし、帰宅してきたら子供は寝ているということも多い時代なのかも知りませんが。

また、叱つてばかりいると、子供は委縮してしまいますので、話したいことも話しくくなるのが起こります。

ですが常日頃からコミュニケーションができていれば、子供は親に話しやすくなります。

これは、社会人を想像してみるとわかりやすいかと思えます。上司が何か難しい表情をしている時は、相談や報告はしにくく、反対に、こやかにしていると話しかけやすい筈です（大人でもそうなのですね）。子供とのコミュニケーションをとることは、親として非常に大切なことであると思えます。

ー子供が親に話しをできなくなつてしまつと、子供は自分の中にいろいろためてしまひそうですよね。

例えば、イジメを受けていたとし

ても親に言えないということも多いいと思います。

今、イジメが原因で命を絶つというニュースをよく聞きますが、「私、いじめられているの」ということを親に伝えることができていけば、自殺まで追い込まれることもないのではと、気の毒に思えて仕方がありません。これも、コミュニケーション不足がもたらしているのかも分りません。

もし、親に打ち明けることができれば、教師とも相談できていたかも知りませんが、自殺まで追い込まれることもなくなると思えます。教師の役目は非常に大切です、真摯に対応して貰いたいですね。

ー親としては、思春期の子供に対して、どう接したらいいとお考えですか？

思春期というのは、一番多感な時期でもありますから、親がいかに支えてあげるかということが大事です。そして、私の中の定義としては、親は子供に対して一切の権利は保有しておらず、義務を果たすのみで



心理カウンセラー 谷村 剛臣（岡山県真庭市）

カウンセリングルームA/T <http://www8.ocn.ne.jp/~hayami/index.html>

※スカイプによる電話カウンセリングを行っています

（詳細情報）



あると考えております。

親が支配欲をあらわにすれば、子供の権利を不合理に奪う事に成りほしくないかと危惧いたします。

親の義務、責務の一つとしては、どうして子供が反抗しているかという見極めが重要です。その見極めができるようになるためには、小さい頃から一緒にお風呂に入ったりとスキンシップを続けてほしいと思います。



そうすると、子供はお母さんに話しやすいと思いますし、お母さんも反抗期だと思った時でも、子供に「どうしてなの？」と聞けるような関係になれると思いますし、そうい

う関係を築いて行くことが大事だと思います。

そういう親子関係を築いておくと、反抗期がきた時に、子供が、「あの時に、ああいうことしたじゃないの」とお母さんに抗議した時に、自分（お母さん）が悪かったと自認できれば、素直に謝ることができると思います。これは相互理解において大切な事なのです。

もちろん、その時の状況は、子供が理解出来るように話をしてあげる必要はありますが、変な言い訳をしないで素直に謝るといことが大事だと思います。

また、自分が悪くないと思った場合には、「そうではなくて、こういうこういう事情でそうなったんだよ」という風に、起承転結で伝えるということがとても大切なんですね。起承転がなくて、結論だけ言っ

て謝るだけではどうにもなりませんよね。

—思春期の時の親や周りの大人の対応が、子供が大人になった時にどのような影響を与えていますか？

一時期、ジェンダーフリーという言葉が一人歩きしたことがありましたが、覚えていますか？男女同権は誰もが認める当然の事です。

ですが当時のジェンダーフリーでは、女性は限りなく男性に近く、男性は限りなく女性に近くって、誤解・曲解を呼び込みました。

男女では、認知スタイルが違いますし、性差があるにも関わらず、できるだけ男社会に近づかなければいけないという教育を当時受けられた方が多いようです。

そのため、当時思春期、現在30歳位の方は大変苦勞をされておられる場合が有ります。（特に女性に

多く見受けられます。女性は繊細ですからね）ジェンダーフリーとは別に、家庭環境、生育歴、両親の対応が適切でなく心を病んでしまったという方は結構多いように感じます。今抱えている悩みの根っこは、結局そこにあるということも多いように感じています。お子様の『生育歴』には十分な配慮をして頂きたいですね。特に思春期の子供たちを預かる先生方には『自分はこの子達が、初めて長時間接する血縁以外の社会人である』と言う自覚を持って頂きたいと思います。

（注）本文は、谷村カウンセラーへのインタビュー内容です。（2009年10月）